



今月の表紙

雪遊びのつどい



今市少年自然の家主催の雪遊びのつどいが、1月19日(土)・20日(日)の1泊2日で行われました。今市少年自然の家は今年3月末で閉所となり、この最後の主催事業に、市内外から21家族(68名)が参加しました。

1日目は今市少年自然の家でけん玉作りや焼き芋作り、ゲームなどで家族の触れ合いを楽しみました。2日目は場所を日光湯元スキー場に移動して、スキーやそりで遊んだり、スノーシューを履いて自然散策を楽しんだりしました。表紙の写真は、スキー場でそり遊びを楽しむ親子の様子です。

参加した湯澤さん一家(瀬尾)は、「とても楽しかったです。閉所になってしまうのは残念ですが、最後のイベントに参加できてよかったです」と話していました。



熱々の焼き芋をみんなでおいしくいただきました。

2月2日(土)、社会福祉大会が今市文化会館で開催されました。社会福祉の推進に功績のあった個人・団体に表彰状・感謝状が贈呈された後、福祉のまちづくりを實現させるため、積極的に取り組むことを会場全体で宣言しました。引き続き、元NHKアナウンサーで、現在歌手として活躍され



社会福祉大会



自慢の歌声も披露した吉川さん。

ている吉川精一さんによる「人生いつもありがとう」と題した記念講演が行われました。吉川さんの笑いを交えた話に、会場は大いに盛り上がりしました。また、同会場では障がい者文化・芸術展も開催され、障がいのある方が趣味や技術を生かして製作した作品が展示されました。



2月2日(土)・3日(日)の2日間、鬼怒川温泉駅前広場で「鬼怒川温泉鬼まつり」が開催されました。3日は朝から雪が降っていましたが、会場は大勢の観光客でぎわっていました。この日、一番の盛り上がりを見せたのは、大ガラムキ大会でした。多くの人に鬼怒川温泉へ遊びに来てほしいという願いから、「鬼は

鬼怒川温泉鬼まつり

外」とは言わず「福はく内」、福はく内!という掛け声とともにガラムキが始まりました。集まった人たちは白い息を弾ませ、歓声を上げながら、元氣にお菓子を拾っていました。また、会場に設置されたテントでは温かい鴨汁とチチタケ(乳茸)御飯が振る舞われ、訪れた人たちはおいしそうに食べていました。

東京都大田区から来ていた方は「たまたま旅行の予約をした日に、このイベントがあるのを知り遊びに来てみました。雪が降ってしまいましたが、子どもたちはかえって大喜びです。ガラムキでお菓子をもらった後は、雪遊びに夢中ですよ」と話してくれました。

川俣の元服式



1月27日(日)、川俣の伝統行事、元服式が地区の自治公民館で行われました。元服式は国の重要無形民俗文化財に指定されています。数え年で20歳になる川俣出身の男子が後見人となる夫婦と親分・子供の契りを結び、一人前の成人と見なされます。川俣では、この儀式で地区の結束を強めてきました。

今年、小松裕太さんと八木澤貴大さんが元服式を迎えました。式を終えて、小松さんは「親分になっていただいたご夫婦とは、本当の親子のように仲良きさせていただきたい」、八木澤さんは「これからしっかりした人生を歩んでいきたい」と話してくれました。

式の後には川俣の伝統芸能である三番叟と恵比寿大黒舞が披露され、2人の門出が祝われました。

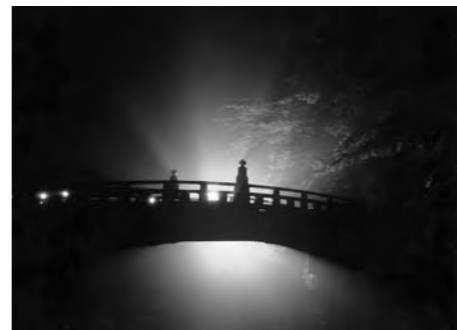
日光フォトコンテスト公開審査会

1月28日(日)に日光総合会館で、日光フォトコンテスト公開審査会が開催されました。市内外から336名、806点の応募があり、日光市を被写体としたさまざまな作品が会場に並びました。

審査会では、写真家の丹地敏明さんが審査員を務め、49点の入賞作品が選ばれました。多くの写真愛好家が会場を訪れ、丹地さんの



審査を見守りました。最優秀賞を受賞した入江義照さん(宇都宮市)は、「本当にうれいんです。寒い時期でしたが、幻想的にライトアップされた神橋が撮影できました」と話してくれました。最後に丹地さんは、「写真は誰かが撮ったものを参考にするのはなく、自分の感覚で撮ってほしい」と話しました。入賞作品は後日、市内外で展示される予定です。



新設された日光杉並木賞 黒田健司さん(今市)の作品「斜光差す日光杉並木街道」(左)。最優秀賞に輝いた入江さんの作品「ライトアップ神橋」(右)。※この2枚の写真は、作品の雰囲気を変えないように加工処理して掲載しました。

足尾小学校の新校舎が完成



足尾小学校の新校舎が完成し、2月2日(土)に体育館で落成式を行いました。

足尾小学校は平成17年4月に本山小学校と統合し、足尾地域唯一の小学校となりました。校舎が老朽化したため、昨年9月から建て替え工事を行い、工事期間中は、旧本山小学校を仮校舎として使用していました。

式では児童を代表して6年生の関和穂さんが、「入学以来、3つ目の校舎になりました。新しい校舎は完成したばかりですが、母校として心から大切にしたいと思えます」とあいさつしました。また、式終了後には、関さんをはじめとする6年生から4年生までの児童が、力強い銅太鼓の演奏を披露しました。